

## 子どもにとって「良いおもちゃ」

子どもは「遊びの天才」と言われるだけあって、教えもしないのに自然に「遊び」を創っていきます。その「遊び」に影響を及ぼすのがおもちゃです。

年齢に応じたおもちゃを与える事は重要ですが、子どもの興味や能力には個人差があります。子どもがおもちゃをどのように使っているかなどを観察し、必要に応じたものを与える事が大切です。

最近は、テレビに向かってひとりで遊んだり、公園のベンチでうつむいて黙々とゲームをする子どもをよく見かけます。

周りとのコミュニケーションをとらずとも展開出来る遊びですね。

おもちゃ選びで重要な事は人と関わりを持つ事が出来るおもちゃを選ぶ事です。

また、子どもが夢中になって遊べる事、そしてそのおもちゃが子どもの成長を促すものが良いでしょう。

幼児期にバランスよく成長を促すために取り揃えたいおもちゃをいくつかご紹介します。

まずは、ボールやなわとびなどの運動おもちゃ。

体を動かして思い切り遊ぶ事で子どもの体が発達し、強くなります。

次に積み木やブロック類は、空間認識能力が高まるといわれています。

今まで目で見えた部分を平面で捉えていた事が、見えない部分も認識しながら物を立体的に捉えるようになります。

これは幼少期のみ発達する右脳発達につながります。また、友達とやり取りが出来るカルタやトランプなどのおもちゃも良いでしょう。

これは、友達や家族と一緒に楽しむ、ルールを理解したり、負けて悔しかったり、けんかしたりしながらもコミュニケーション能力を高めるのに役に立ちます。

「おままごと遊び」も同じく、様々な場面を作り、お人形などを使ってお母さんの真似をしたり、会話をする事によって、情緒面での発達も促します。

大人からすると、たかが「遊び」と思えるような事でも、子どもにとっては、「教育」そのもの。子どもの成長に合わせて、楽しく遊べて学べるおもちゃを追加してあげて下さいね。